会 議 議 事 録

件 名	神奈川県医療対策協議会
日 時	令和7年3月13日（木） 19：00～21：00
場 所	Zoomによるオンライン（配信会場：総合医療会館2階）

<概要>

(1) 協議事項

- ア 自治医科大学卒業医師義務年限における新たな配置方針について
- イ 修学資金貸与医師の配置調整（案）について
- ウ 修学資金貸与医師に係るダブルボードの取得について
- エ 医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージについて
- オ 基幹型臨床研修病院の新規指定について
- カ 令和8年度から研修を開始する臨床研修医の募集定員調整（案）について

(2) 報告事項

- ア 令和7年度医師関係事業予算について
- イ 特定労務管理対象医療機関の新規指定について
- ウ 地域枠医師について

(事務局)

本日の協議につきましては非公開事案もございますので、非公開事案を除いて、原則のとおり、公開させていただければと思います。

今回、傍聴者についてはおりませんので、議事を進めさせていただければと思います。

事務局からは以上です。今後の進行については、会長、よろしく申し上げます。

(会長)

これより議事に入らせていただきます。次第に従って進めて参ります。

協議事項の「自治医科大学卒業医師義務年限における新たな配置方針について」事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【協議事項のア 自治医科大学卒業医師義務年限における新たな配置方針について 説明】

(会長)

ただいまの説明について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

(委員)

5、6年目で診療所派遣という形をとるような方向で進めているようですけれども、2、3人卒

業生がいるが、彼らが皆そういう形で診療所に5, 6年目で配置するということでよろしいか。

(事務局)

御認識のとおりです。

(委員)

5, 6年目の卒業生は皆、診療所へ一斉に行く形になるのか。

(事務局)

5, 6年目の先生に行っていただいて同時に4箇所埋める形になります。

(委員)

今までは、そこら辺がはっきりせず、いつ診療所に行くかが様々だったと思うのですが、はっきりしてきたなという気はする、いい方向だなと思います。

(会長)

5, 6年目と言えば、まあまあの戦力になっている。診療所で地域医療の患者さんを診るにあたって戦力となって、5, 6年目あたりで地道な、実際の患者さんを診るのは逆に役に立つ5か年でしょうかね。

(会長)

続きまして、協議事項のイ「修学資金貸与医師の配置調整（案）について」事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【協議事項のイ 修学資金貸与医師の配置調整（案）について 説明】

(会長)

ただいまの説明について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

(委員からの意見なし)

(会長)

続きまして、協議事項のウ「修学資金貸与医師に係るダブルボードの取得について」事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【協議事項のウ 修学資金貸与医師に係るダブルボードの取得について 説明】

(会長)

ダブルボードの取得については、県としてもウェルカムな部分あるけれど、その診療科の組合せに関しては条件があるよってことだと思われま。

ただいまの説明について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

(委員からの意見なし)

(会長)

事務局は、しっかり対応をお願いいたします。

(会長)

続きまして、協議事項のエ「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージについて」事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【協議事項のエ 医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージについて 説明】

(会長)

ただいまの説明について、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

(委員)

県西地域を重点医師偏在対策支援区域として設定することとしたいということについては、大きな矛盾がないように思えるが、1つ質問したいことがある、県の保険医療計画推進会議に参加していると、その中でも県西地域を重点的に支援すると言ったらいいのか、その地域の中での地域医療構想を推進していこうという議論がすでに進んでいて、その中で具体的な取り組みの中身も明示されつつある中で、それとの関係性を聞きたい。

「地域医療構想の推進、医師の働き方改革、医師の偏在是正」は、三位一体的に解決しなさいというのが国の大きな方向性なので、今回こうした議論が出てくるのはわかるが、県の政策の中で、県の地域医療構想の推進区域を設定してやる中身と、今回ここでやる中身、とりわけ特に唐突だと思うのが、診療所の開業・承継支援が突拍子もなく出てくるのが、地域医療構想の推進とどういう関係にあるのか。疑問に思ったりするものなので、大きな枠組みの中での整合を図ってもらいたいと思うので、その点どうお考えでしょうか。

(事務局)

国からプランが示されたのが昨年末ということもあり、その前から事前の情報はいただいていたが、そもそもなぜ診療所の承継・開業支援を先行するのかということも、国からの説明としては喫緊の課題であり、承継者がおらず閉じてしまう診療所も多いということもある中で、先行して行うべきだと説明をいただいている。

三位一体の改革ということで、地域医療構想と偏在対策等もやっていく中で、それを複合的に

合わせていくかの説明は具体的には言われていない。

県の中でどうなのかというと、プランが示されたのが県としても昨年12月に示された中で、地域医療構想調整会議にも、時期が合わなかったこともあり、情報共有もできていない。

施策について地域の医師会にも意見は伺ったところだが、別途、診療所の承継・開業支援を先行して実施すべきかといった御意見もいただいているところなので、そのところは今後、地域医療構想調整会議等で情報共有して、三位一体の改革と施策として、どう連携していくかは協議が必要と考えている

(委員)

国が示している緊急支援はもっと医師不足・偏在が深刻で診療所も承継でき無くてつぶれている地域がある。そういう地域を念頭に緊急支援のパッケージを出していると思う。でも、地域医療構想の分野では、県西地域の議論では別の視点での課題が明確になってきているはずである。

そことギャップがありすぎると、お互い何やっているのだという風になり兼ねないので、整合を図るべき。大きな構え、地域医療構想の中で、あの地域が何の問題を抱えているかに基づいてやらないと、お金ばらまけばいいというものじゃない。

(委員)

まず一つは唐突に三位一体の改革であるはずの地域医療構想と医師確保なのに、こういう話題がバラバラに降りてきたという感じがする。委員もおっしゃったとおり、地域医療構想においては、昨年度から推進地域と重点推進地域、地域医療構想の推進に取り組む地域を決めてアクションをしようということで、神奈川県では県西地域が選ばれている。

ややこしいのだが、こちらはそれとちょっと響きが違うことになる。よくよく考えると医師偏在指標は県西で低い、外来偏在指標だと県西より相模原の方が低い。相模原が低いのは大学病院で外来やっているから低いとか、そういう理由で外来偏在指標として出されたものが、あまり表に出てこないと思う。

仮に、県西を進めるということ自体は、検討してみるという意味で、県西が地域医療構想の推進地域ということでいろいろなことを検討している、その一つとして外来の診療所のことを考える、どうせやるなら一緒に同じ中で考えた方がいいよねというのであればありだと思う。

ただ、医療対策協議会の中でこの話をするというのは、これまで地域枠医師のことを考えて、病院のドクターが委員に多い中で、診療所の医師偏在是正プランを策定していくのは不可能である。その辺がどうなのかと思う。

仮に県西を地域として指定するのはありますが、診療所の承継支援を本当にやるべきかという事は、よくよく考えないと、お金を出すというのはこれまでやっていた医療機関にとっては不公平以外の何物でもない。

無医村に近くて、行政がお金を出しても診療所を継続したいという地域になると、県西でも市ではなく町レベルになる、そういうところに限定するとかにしないと不公平になる。国で解決策が出せずに色々アイデアを並べているだけなので、実現性の観点からは何とも言えないと個人的に思っている。

(事務局)

議論の場所がどこなのかは、まさにおっしゃるとおり、偏在対策は地域の実情に応じてというところがある。そういった意味で医療対策協議会が病院の先生が多い中で、地域の実態というところと協議の整合性がどこまで取れるかはご指摘のとおり。

先行して区域設定はさせて頂いているが、委員がおっしゃるとおり保健医療計画推進会議、地域医療構調整会議又は地元の医師会とよく協議はさせて頂いて、一方的な決めつけにならないよう議論が必要と考えている。

地域医療構想所管部署・グループとも議論して、区域設定は今後、経済的インセンティブが増えていくこともあるので、どういうプロセスを経て、施策ですとか区域も含めて決定していくのかは、庁内で議論させていただければと思います。そのあたりは医師会の皆様にも御意見いただければと思っております。

(委員)

1点だけ、経済的インセンティブを早まってつけないでください。地域できちんと議論してルールを作ってからでないと、地域で軋轢を生みますので、経済的インセンティブは後でいいと思う。外来偏在指標をみても、そこまで無医村の地域は、県内にそんなにないと思うので慎重な議論をお願いしたい。

調整会議の場でやっていくという風に寄せてもらわないと、会議のタイミングもメンバーもずれるので、おかしなことになってしまうので、そこだけは慎重にやった方が良く思う。

国が言っていることの実効性はほぼないと思っているので、検討をするということでもいいと思います。国が言うとおりに慌ててやる必要はない。

(委員)

継承・開業支援という、それを買収するわけになるのか。そうすると、10年後の地域の人口がどうなるのかという事まで調べて、そこを買収して継承していかないと、その人が買収して、そのままつぶれてしまうこともあると考えられる。

県が買収して給料を払って、そこに来て欲しいというのと、継承というのは意味が全く違ってしまって、ここの協議会でどこまで決めていくのか不明である。国がそうしろということの理解ができないというところがある。

(事務局)

どういった診療所の開業・承継の案件を選定するかのプロセス、具体的な基準が議論できていないので、区域を定めるにあたって、人口動態等も考慮すべしとなっているので、開業・承継した方がいいものの、採算取れずに続かないということもあるので、委員からいただいているとおり、施策を実行するかも含めて、慎重な議論が必要と考えておりますので、横断的に庁内でも議論をしていきたいと考えている。

(会長)

実に現場に即した意見だと思われまます。これらの委員の意見を踏まえた調整をお願いいたします

す

(会長)

続きまして、協議事項のオ「基幹型臨床研修病院の新規指定について」事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【協議事項のオ 基幹型臨床研修病院の新規指定について 説明】

(非公開事項)

(会長)

続きまして、協議事項のカ「令和8年度から研修を開始する臨床研修医の募集定員調整（案）について」事務局から説明をお願いいたします

(事務局)

【協議事項のカ 令和8年度から研修を開始する臨床研修医の募集定員調整（案） 説明】

(非公開事項)

(会長)

続きまして、報告事項のア「令和7年度医師関係事業予算について」事務局からお願いいたします。

(事務局)

【報告事項のア 令和7年度医師関係事業予算について 説明】

(会長)

続きまして、報告事項のイ「特定労務管理対象医療機関の新規指定について」事務局からお願いいたします。

(事務局)

【報告事項のイ 特定労務管理対象医療機関の新規指定について 説明】

(会長)

続きまして、報告事項のウ「地域枠医師について」事務局からお願いいたします。

(事務局)

【報告事項のウ 地域枠医師について 説明】

(非公開事項)

(会長)

以上をもちまして議事を終了とさせていただきます。

委員の皆様、円滑な議事の進行にご協力本当にありがとうございました。進行を事務局にお戻しいたします。

(事務局)

委員の皆様、長時間にわたりご議論いただきましてありがとうございます。これをもちまして本協議会を終了いたします。本日はありがとうございました。